



輝
夜



その目的を推測すれば



可愛いウサギさん
貴方は何処に
住んでいるの？



当然案内など
してやる筈は無かった



教えて欲しい？
案内してもいい…



私一人の犠牲で
済めばいいと…



よ…

そんな
判断の前に



ありがとう

心は既に捕らえられていた

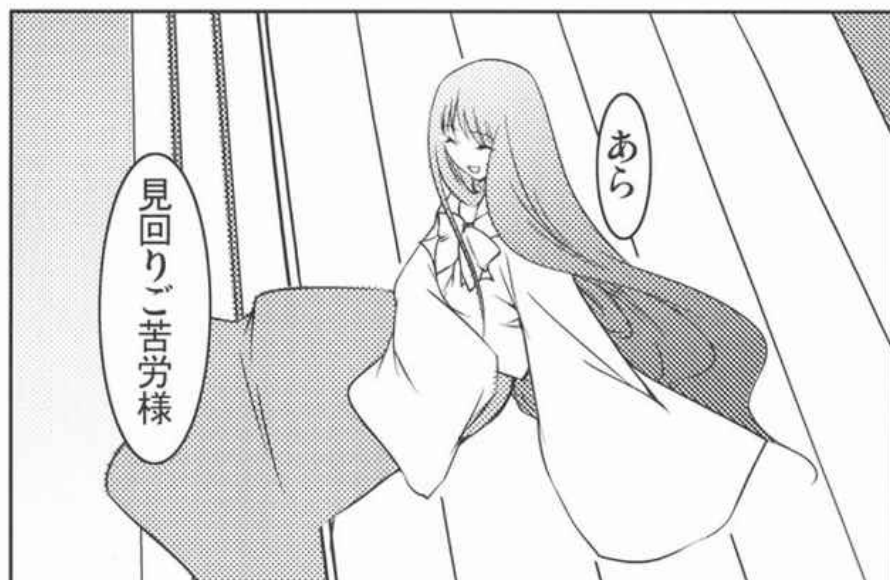


どーこーかーで
だーれーかーが
よーんーでーいるー♪



みーうごーきー
できないー
あんもくのー…

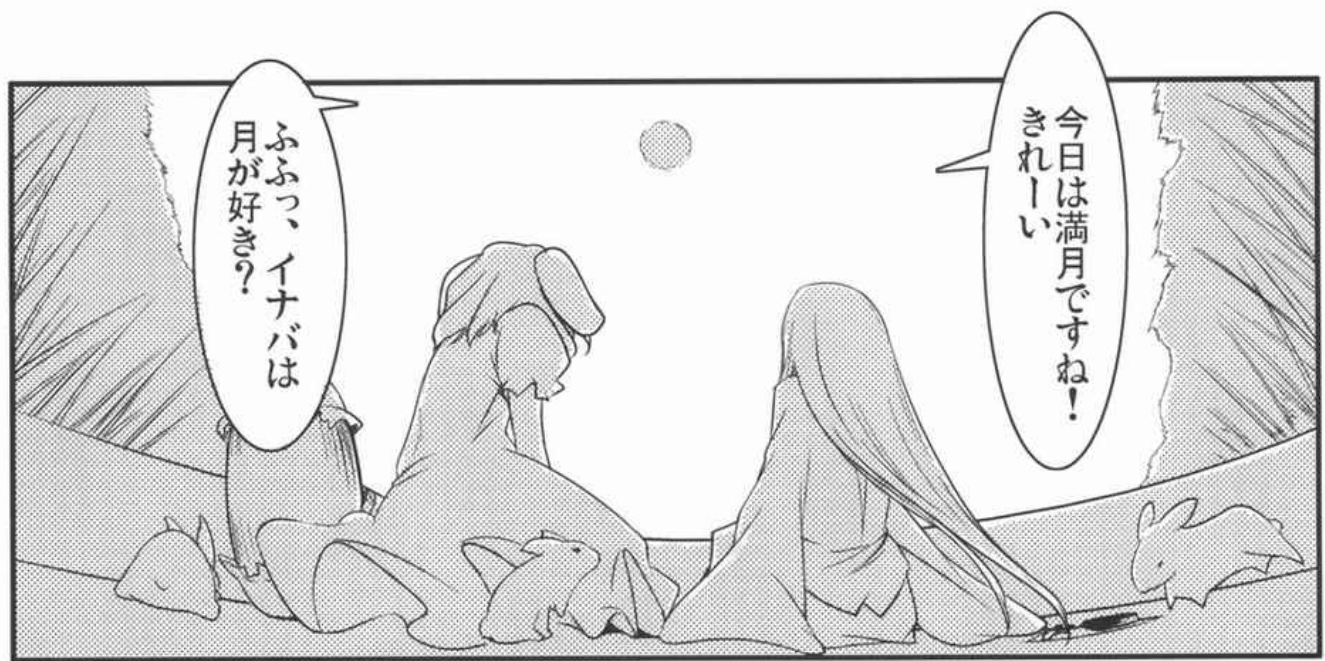
輝夜さま



見回りご苦労様

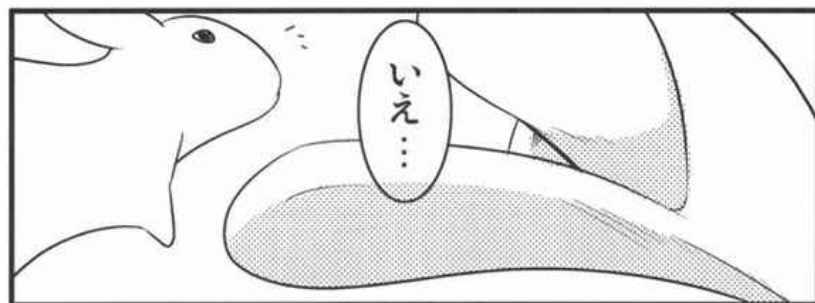
あら













「貴方の力は貴重なの。
私を狂わせる事が出来るよう期待しているわ」

そんな事を言う姫は既にして狂っているのだろう。
しかし、自身の正気を疑わないのなら持ち得る事があってもおかしくない願いか。
それほど永く生きているのだ。

この方は

イキモノ

魔性の何

だからこ

この方に

観察し識

自殺行為

ただ指示

機嫌を損

それ以上

それ以上

それ以上

そうや

気をや

出来る

とされた。

除し

する事は

者でも無い。

つにする事

い。

い。

い。

い。

遠くに

いれれば

「真っ赤な瞳。ただ見つめているだけで、頭がふらふらしてきそう」

心が取り込まれる。



栓を抜いた瞬間気化し
あっという間に広がります

しかし、その前に少量吸入すれば
免疫を付ける事が出来ます

ふーん…

便利じゃない
ねえ？



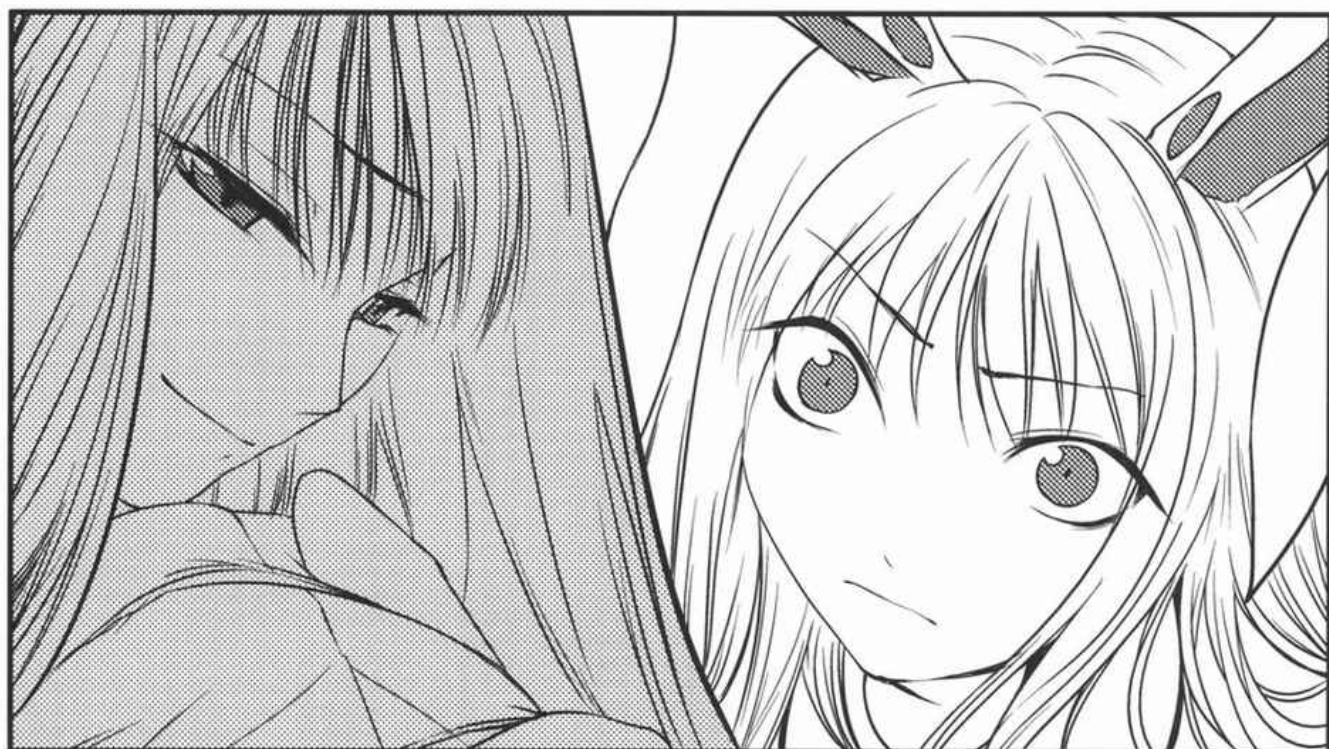
ごめんなさいっ！
私の力が及ばず…！

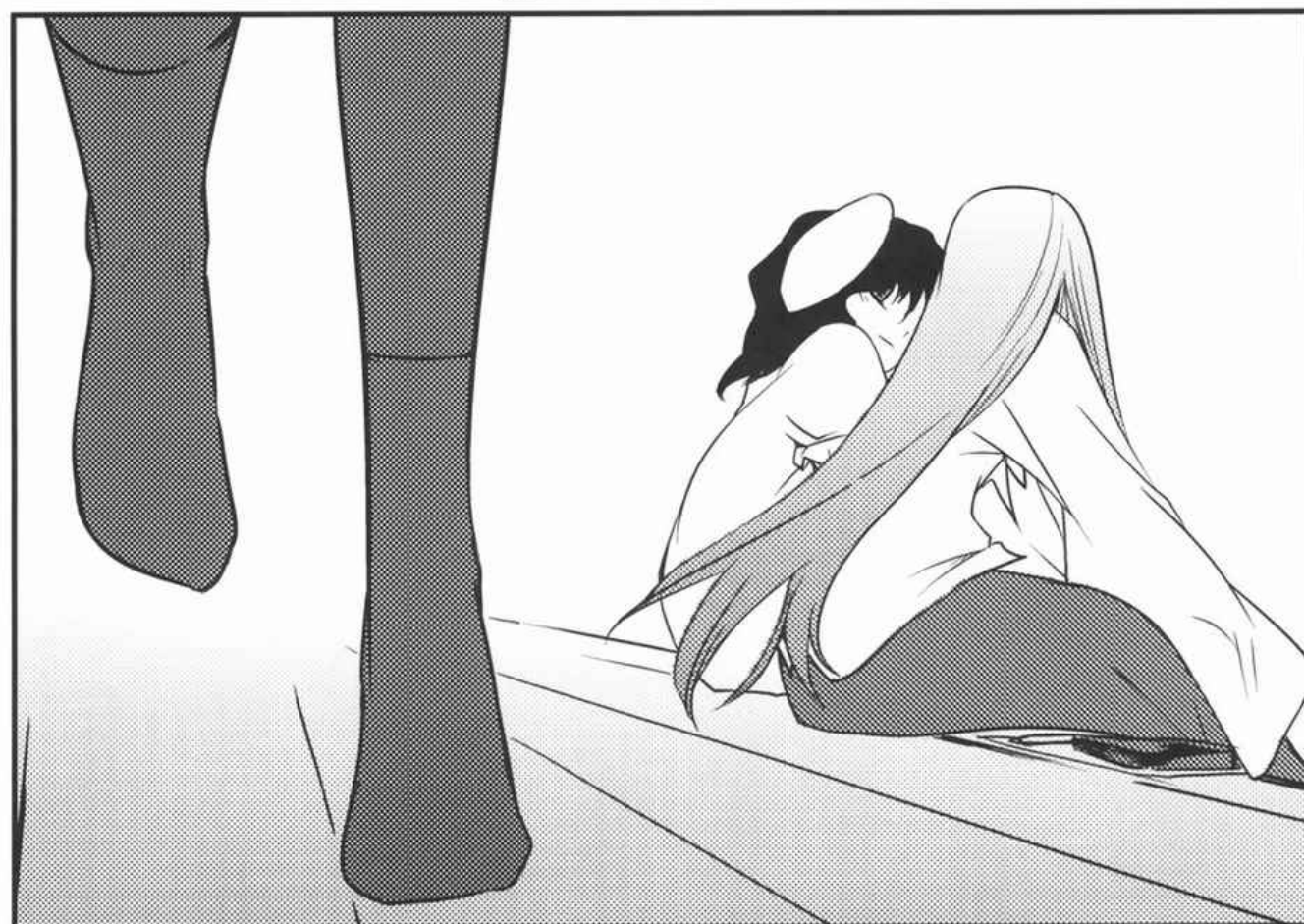
仕方ない事よ
向こうの方から
有利なんだから



ふう、あの二人組
ついに私の所まで
来てしまったわ

はっ







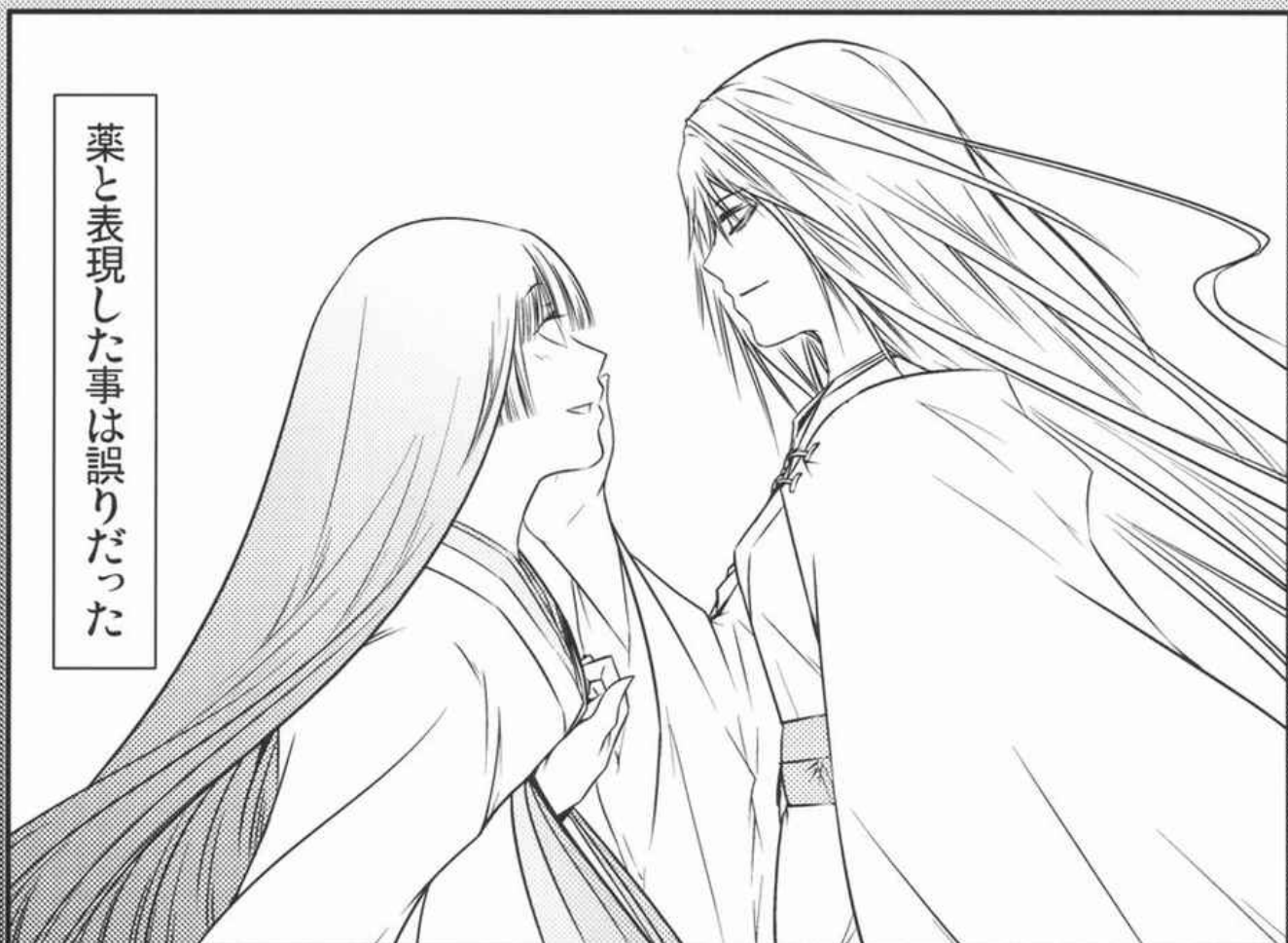
「ウラギリモノ」



姫が処刑され、
月の使者として再びその姿を現るまでの時間は
永遠よりも永いものだった。

蓬萊の薬以外にも
私に効く薬があったのだから
驚くわ。

だって、これでは
薬物中毒のようじゃない？



コレは毒だ。



姫は私の前では
その美しい顔を歪めて
甘い声をあげる



姫の特別であるという事は
私にとって至高の喜び



くわわわわ...



幼稚な事ではあるが
他の者に対する態度と
比べては悦に入る

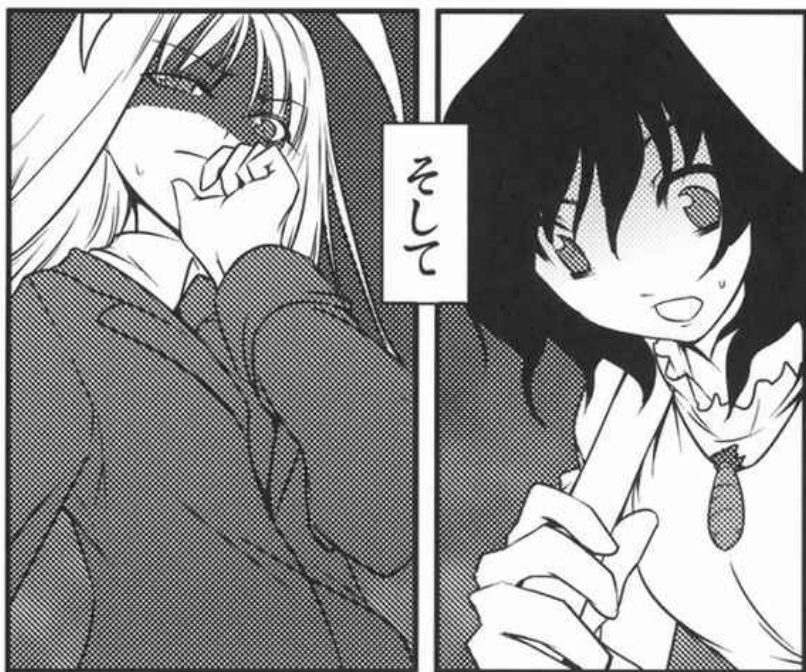


美しいモノを例えて
よく花を挙げられるが

この世の全ての美を誇る花は
姫の前に己の醜さを恥じる

故に、姫を例える花は
存在しない

この穢れた大地の理想郷で



姫は一人の少女に出会う

私は、姫の特別では
無くなった。









こんな下らない事も
千年と続けていれば



何度か考える事がある



此奴と私に
何の因縁も無く

出会いが只の
偶然だったら



此奴に何の怒りも
ぶつけなかったなら

此奴は私に一切興味を
持たなかっただろう

それなら…

なんて、下らないな



のんきな話だ
まあ死なないから
いいけどさ

アレ？片方
やられちゃったかな



痛ったいな、もう



おい、ちょっと
待って



そっちも食われたら
何も見えないだろ（笑）



サークル 徒歩二分
印刷所 ねこのしっぽ